

ふれあい成徳

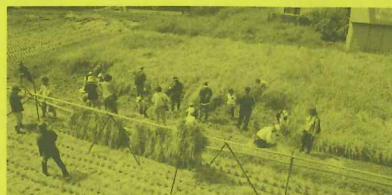
第70号

発行所：成徳地域福祉センター
〒657-0037
神戸市灘区備後町1-3-1
成徳小学校内 Tel822-6211
発行：成徳ふれあいのまちづくり協議会
発行人：委員長・中田 進
編集者：広報部会長・池谷 航介
発行日：2025年3月1日

まち×むら交流 成徳ふれあいマルシェ

毎年恒例となっている「成徳ふれあいマルシェ」を、今年も10月第3土曜日に大和公園で開催しました。午後から雨模様となり天候には恵まれませんでした。午前中には多くの方々にご来場いただき、大盛況となりました。会場では、丹波篠山市城南地区で収穫した黒枝豆を販売しました。また、無農薬・化学肥料不使用の新鮮なピーマン、なすび、しいたけも並び、多くの方にご好評をいただきました。また、今回初の試みとして、ベビーカステラの販売や、小さなお子様も楽しめるスーパーボールすくいを行い、大変賑わいました。その他にも、和菓子、カレー、パン、ビールなど、多彩な商品が販売されました。

夏休みのテニス教室や夏まつりなどを通じて知っていただいた方々にもお立ち寄りいただき、ご参加の皆様には心より感謝申し上げます。今後も、地域の皆様や子供たちが気軽に参加できる場を提供できるよう、活動を続けてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。
(まち×むら交流部会長・山下努)



1月18日（土）「成徳小学校防災デー」

〈防災ポンチョづくり〉



成徳小学校運動場では消防署員の指導により、避難訓練やバケツリレーなどが行われました。私たち防災コミュニティのメンバー12名は、小学校からの依頼を受け、4年生の「防災ポンチョづくり」授業のお手伝いをしました。

各クラスの先生指導のもと、ポンチョ作りのサポートです。子供達も初めての経験で、最初は戸惑っているようでしたがすぐに慣れ、わいわい楽しみながら手作りポンチョに取り組んでいました。防災コミュニティのメンバーも、子供達の間を巡って、要所ごとに工作の支援を行いました。

授業の冒頭、先生から災害時における防寒や防塵に役立つ簡易ポンチョの有用性について説明があり、子供達も完成したポンチョを実際に着用することで、災害に対する備えの大切さをよく理解してくれたと感じました。また、参観日でもありましたので、大勢の保護者の方々が、笑顔で子供達の授業を見守っていました。

イベント終了後、畠山PTA会長からは、「帰宅後も子供と防災について考える良いきっかけになりました」とお聞きしました。地域に在住する防災コミュニティのメンバーとして、これからも防災活動のお手伝いを続けていくことで、次代を担う子供達に災害に対する備えの大切さを伝えていけたらと考えています。

(成徳防災福祉コミュニティ・藤本裕史)

〈バケツリレー〉

我々パパイヤは3年生バケツリレーのお手伝いをしました。並び方やバケツの持ち方など、効率よく渡すコツを子供達に伝えました。子供達はもちろん保護者の皆さんにも多数参加いただき、楽しみながら防災を体験することができました。先生が「平らなグラウンドではない場面や、バケツ以外の運搬にも役立ちます」と子供達に説明されたことが印象的でした。
(PTA 父親会パパイヤ委員長・野原佑太)

「ふれあい成徳」は通巻70号を迎えました!

成徳地域福祉センターの広報誌として年2回（臨時号を含むと年3回）発行しております「ふれあい成徳」は、今号をもちまして通巻70号を迎えることとなりました。毎号、地域に関わる多くの皆さんから寄稿や写真提供をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。今後も充実した内容をお届けできますよう、広報部会一同、頑張ってまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。

成徳地域福祉センターの使用について

センターご利用にあたりましては、以下の点についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜利用上の注意点＞

- 来館者名簿への記入は、入館者数把握のために記入ください。(団体の場合は、代表者名と人数)
- 発熱、咳など、体調が悪い時の来館はお控えください。
- 利用中の換気は、こまめに行ってください。

「成徳ふれあいのまちづくり協議会」フェイスブックページ

イベント等、地域の情報を発信していきます。右記のQRコードを読み取っていただくか、灘区役所のホームページ>計画・取り組み>成徳地域福祉センターのご紹介からご覧ください。



★★★成徳地域福祉センターをご利用ください★★★

成徳地域福祉センターは、神戸市民だれもが利用できる交流の場です。

利用を希望される方は申込書に必要事項を記入し、運営協力金を添えて、利用日の1か月前から当日の間に直接センターで申し込んでください。(問い合わせ先：078-822-6211)

＜利用方法と協力金＞(2024年8月、成徳地域福祉センターの利用方法と協力金を変更させていただきました。)

利用時間	曜日区分	活動コーナー（旧A・B室）	和室（旧C室）
9：30～12：30	月～土	2000円	1000円
	日・祝	3000円	
13：30～16：30	月～土	2000円	1500円
	日・祝	3000円	
17：30～20：30	月～土	2500円	1500円
	日・祝	3500円	

※「活動コーナー」の部分貸し出し（旧A・B室ごと）はできません。

※調理室・ピアノ・カラオケの使用は1回の利用につき500円を追加で納金いただきます。

新春もちつき大会

1月11日、気持ち良いくらいの晴天でした。世間は「えびす祭り」にもかかわらずセンター内も校庭も人、人、人！沢山の来客が来てくれました。外で餅つきの順番を待つ子供達、我が子が餅つきする写真を撮る保護者の皆さん、歓声と笑顔が溢れていました。今年も餡（あん）、きな粉、海苔、大根おろし、醤油、などなどのお餅がズラッと並びました。和室で座ってゆったり食べる人や、立食でガンガン食べてお代わりする人、それぞれがマイスタイルでお喋りもはずみ、皆さんお餅を堪能した日でした。



成徳小学校一年生「昔のあそび」を体験

1月30日～31日に成徳小学校一年生と地域の方が一緒に「昔のあそび」を体験する授業が行われました。子供達はコマ回し、ケン玉、お手玉、あやとり、おはじき、ダルマ落とし、ヨーヨー、紙飛行機、紙鉄砲の遊びを地域の人に教えてもらいながら取り組み、笑顔あふれる時間となりました。地域の方は日本の伝統的な遊びを教えながら子供達と楽しく交流することができました。



参加してくださった皆様ありがとうございました。

福祉センターで心温まるコンサート開催

2月10日、「ふれあいサロン」（毎月第2月曜開催）において、「震災30年つなごう音楽で未来へ」と題してコンサートが開催されました。リコーダーとハーモニカの演奏が披露され、曲目は「冬景色」「早春賦」「遠くへ行きたい」、「赤い花白い花」、「希望」など懐かしい名曲が多く含まれていました。皆さん若い頃を思い出し、口ずさんでいる方もいました。参加者からは、「良かった」という声がたくさん寄せられました。



第28回成徳まつり（開催の御礼）

11月3日に開催いたしました第28回成徳まつりは、前日の荒天で準備に苦労しましたが当日は天候も回復し、多くの方にご来場いただき、各イベントや模擬店では子供達や地域の方々よりたくさんの笑顔をいただきました。成徳まつりの開催にあたりましては、成徳ふれあいのまちづくり協議会の主催事業として「成徳地域のおまつり」と認知され、灘区に後援いただき、地域の諸団体・個人の方・協力企業の皆様に金銭的なご支援も賜りました。また、地域の住民の方々や地域の企業、飲食店、高校生・大学生等による多数のボランティアの方々にご協力をいただき、大きな事故やクレームもなく開催・終了できましたことを心より御礼申し上げます。

次年度も引き続き、第29回の開催に向け、準備を進めてまいります。これからも地域の皆様と一緒に、記憶に残る秋の一日にしていきたいと考えておりますので、お気づきの点やご意見等ございましたら、遠慮なくお申し出ください。

ボランティアスタッフも随時募集しておりますので、ご興味のある方はホームページ（QRコード）からご連絡ください。

今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（成徳まつり実行委員長・岩崎優治）



成徳まつり
ホームページ

せいとく



ニュース

「かえる〜ぷ」

10月19日（土）「成徳ふれあいマルシェ」において、今年度も「かえる〜ぷ」を開催しました。皆さまのご協力のおかげで、毎回ご好評をいただき、今回で3回目の実施となりました。雨天のため、大和公園から会場を変更し、成徳地域福祉センターでの開催となりましたが、あいにくの天気にも関わらず、たくさんの方々にご来場いただきました。小さくなった子供服、遊ばなくなったおもちゃを必要なものと交換することによって、リサイクルの輪が広がりました。また、皆さんに喜んでもらうだけでなく、ごみを減らし、環境のことを考えるよい機会になりました。



わがまち「クリーン作戦」

12月10日、年末の恒例事業である「わがまちクリーン作戦」を実施しました。

徳井、南八幡、福祉センター、学校公園でそれぞれ清掃活動を行いました。今回は成徳小学校の6年生の子供達も公園や高羽川の清掃に汗を流してくれました。終了後のお楽しみはくじ引きです。良い品物を引き当てた方もいらっしゃったようです。参加してくださった皆さんありがとうございました。

ゴミのない、きれいな街でくらしたいですね！



「環境施設研修旅行」

2月7日（金）エコタウン事業の一環で、研修旅行を実施しました。

まずは「カップヌードルミュージアム大阪池田」を訪問しました。インスタントラーメンの誕生、発展についての展示を見学し、チキンラーメンファクトリーにて、チキンラーメンの手作り体験に参加しました。粉を混ぜて生地を作り、専用機械を使って「バレンタイン期間限定ハート型の麺」の出来あがりです。仕上げはパッケージにイラストを描いて、世界で一つのチキンラーメンが完成しました。

芦屋駅前のお店で六甲山の山並みを眺めながら昼食を楽しんだ後、神戸市環境局東水環境センター東灘処理場を見学しました。下水処理の段階で発生する廃棄物（汚泥）を資源としての再生を目的に、汚泥からリンを回収し、エネルギー再生、水再生はもちろん、肥料としても利用され、学校給食米「きぬむすめ」を育てているそうです。「リン資源がつながる都市と農村」と銘打って、キャベツや大根など、環境に配慮した農産物の販売につながっているとのことでした。「こうべ再生リン」は今後、「市内に3処理場500トン体制に拡大し市外への流通、貢献を目指す」としています。

まさに資源は汚れの中にあり！美味しい野菜、果物も出来たら嬉しいですね。体験、講習、見学ありの楽しい一日でした。

